

特定非営利活動法人(NPO)
ふくかねっと

〒960-2261 福島市町庭坂字荒町 59-1
TEL: 024-591-4892 FAX: 024-563-7450
E-mail: fukukannet4892@bz01.plala.or.jp
URL: http://kan-net.web.infoseek.co.jp/

入会のご案内



活動内容は、韓国語講座、韓国料理教室、韓国旅行、韓国映画鑑賞会、韓国人との交流会など盛り沢山。お好きなものにご参加ください。

●会員種類

【正会員】

すべての事業（活動）に任意で参画できる会員

【賛助会員】

組織の目的に賛同し、財政的な支援をする個人または法人・団体等の会員

●会費

正会員：年額 3,000 円

賛助会員：年額 1 口個人 5,000 円、

法人 10,000 円

【会員特典】

韓国料理講習会、韓国旅行、韓国映画鑑賞会、韓国人との交流会など、イベントへの優待待遇

韓国食材・雑貨が会員価格

福島フォーラム（映画館／福島市）で韓国関連の映画を一律 900 円で鑑賞（会員証提示）

韓国雑誌の会員価格販売

11/10
リニューアル OPEN
パッキン 1 個から
お気軽に！



台所・風呂・トイレ水まわり増改築専門店
SYSTEM KITCHEN & BATH
ヤマハリビング
福島ショールーム ヤマギシ
福島市北矢野目字窪田 23-2(農免道路沿)
フリーダイヤル 0120-417-126
(AM9:00 ~ PM5:00 水曜日定休)
http://www.yy-aqua.co.jp
株式会社山岸商會

http://kan-net.web.infoseek.co.jp/

菜穂ちゃんの韓国三昧日記 その2

秋夕 チュク

すさまじい食欲に圧倒！

9月の下旬、ちょうど韓国のお盆といわれる秋夕（チュク）の時期、韓国に行ってきました。お邪魔したお宅では、女性たちは朝から台所に立ちどおしてお供物を山のように作ります。その間、味見と称してパクパク。おやつ用に、かぼちゃを丸ごと使った甘いジョン（お好み焼きのようなもの）を次から次へと焼き、その後みんなの夕食を作ります。そして、ワイワイガヤガヤと楽しく秋夕前夜祭。デザートは果物がどっさり出され、食べなければ許されない雰囲気。夕食前、すでにお腹がはちきれそうだった私は、ただただ彼らの食欲に圧倒されるばかり。秋夕期、韓国人宅に行くときは必ず胃薬をお忘れなきように。（文章：対外局長・河本菜穂子）



ふくかねっと 韓国食材と雑貨の店

あんじょん★コツペギ 新製品 & おすすめ製品情報

ふくかねっと選りすぐりの韓国食材・雑貨を販売しています。会員には、会員価格でご提供！ご購入は、ふくかねっと事務所および各講座にてどうぞ。

韓国味の Pasta? 韓国の若者に人気の味

ジャバゲッティ
1 個 ¥150 (一般 120)
インターンシップ生も超おすすめ！ソースを麺に絡めて食べます。

海鮮のうまみがぎゅっと詰まってコクがある

セウタンカップ麺
1 個 ¥180 (一般 150)
海老ダシスープがとても良いお味。

会員から寄せられたオリジナルレシピ！

さきいかキムチのきゅうりサンド

<材料>

さきいかキムチ きゅうり 大葉 塩

<作り方>

1. きゅうり1本を塩でもんで、少し馴染んだら洗って水気をとる。
2. きゅうりが離れないように、縦に半分に切る。
3. そこに大葉を挟む。
4. 大葉の中にさきいかキムチをお好みの本数挟む。
5. 斜め切りにして、皿に盛る。

このアイデアは、会員の磯部さん、草野さんからいただきました。なお、レシピの材料になっているさきいかキムチ、メシル茶はふくかねっとでご購入いただけます。



メシル茶（梅茶）ヨーグルト

<材料>

ヨーグルト メシル茶

<作り方>

ヨーグルトにメシル茶を入れるだけ。

インターンシップ事業での感謝とお礼

このたびのふくかねっとのインターンシップ事業では、準備期間から今日に至るまで、多くの企業・団体、市民の皆様方に、多大なるご協力をいただき、ここまでたどり着くことができました。これまで少人数のインターンシップ生は受け入れてきましたが、今回 20 名近くの学生を受け入れたのは初めてであり、皆様のお力添え無しでは成し得なかったことと深く感謝しております。私たちふくかねっとは、地元の方々へのサポートによって支えられていることをあらためて実感いたしました。

<協力企業・団体> ※順不同・敬称略

国立大学法人福島大学、福島県盲学校、FTV学苑、福島民報社、福島民友新聞社、毎日新聞社福島支局、あづま脳神経外科病院、梨の里、(財)福島県国際交流協会、ふくしまNPOネットワークセンター、JA新ふくしま、JA伊達みらい、飯坂穴原温泉吉川屋、観山荘、摺上亭大鳥、陽日の郷あづま館、山水荘、ホテル辰巳屋、双葉旅館、渋谷レックス(株)、NHK福島放送局、(株)山岸商會、(株)アポロガス、(有)菅野地所、(株)カンノ住研、レストラン玉萬、ネットヨタノヴェルふくしま(株)、プロジェクトふくじゅ

福島と韓国をひとつのつながりでねっとわーく 韓国を楽しむ仲間になりませんか！



ふくかねっと

特定非営利活動法人(NPO)

第8号 2007年11月3日発行

韓国語講座 受講生募集中

5才から
70才以上の方まで
楽しく学んでいます！

- 入門・初級・中級クラス
- 子どもクラス
- 学生・社会人夜間クラス
- 保原教室

対象、スキル、地域、曜日時間に合わせてクラスがあります。また、短期出張講座、講師派遣も承ります。詳細はお問い合わせください。tel 024-591-4892

簡単・楽しい・覚えちゃお！

相手に自分の意思を伝えるとき、「～をしたいと思います」という言葉を覚えておくと便利です。(監修：河本菜穂子)

1) 食べたいです。

모꼬시뽀요

먹고 싶어요.

2) 見たい(会いたい)です。

보고시뽀요

보고 싶어요.

3) 行きたいです。

가고시뽀요

가고 싶어요.

4) 欲しいです。

이쑤시뽀요

갖고 싶어요.

交流事業に熱く燃えた 2007 夏でした！

8/1 ~ 4 には、韓国・安城(アンソン)市から高校生 20 名が、8/6 ~ 9 には韓国・ブント安市から小学生 20 名が福島にやって来て、それぞれ同年代の子ども達や地元の市民と交流、会員宅でホームステイをしていきました。



韓国小学生とわくわく夏交流会

安城(アンソン)市高校生
福島ホームステイ・文化交流



안성시 성적 우수 청소년 해외 배낭여행

安城の高校生は、2 日間にわたってあさか開成高校や桜の聖母高等学校の生徒さんと交流、一緒にあづま運動公園でピクニックをしたり、民家園を見学したりしました。また、桜の聖母の学校へお邪魔して校內を案内してもらい、楽しいひとときを過ごしました。(↑写真はあづま公園で) ブント安市の小学生達とは、こむこむや駄菓子屋と一緒に遊んだり、福島市内の七夕を見学したり、言葉は通じなくとも、子ども達同士元氣いっぱいコミュニケーションしていました。(←写真:浴衣やチマチヨリを着て一緒に民族舞踊)

韓国インターンシップ生特集

韓国・白石文化大学から 19名の大学生が福島にやって来た！



福島県知事を表敬訪問した時の写真

韓国・白石(ベッコク)文化大学から19名の大学生が、1ヶ月の日本語研修と3ヶ月のインターンシップのため、7月20日福島入りしました。

最初の1ヶ月間は、ふくかねっと附設日本語日本文化センターで福島大学をはじめ、各専門分野の先生方から、日本語や日本文化について学びました。また、課外授業として、福島市花火大会、飯坂けんかまつり、会津やいわきへのバス旅行など多数の行事に参加し、地域文化やひととのふれあひも体験しました。

福島市や二本松市の旅館・ホテル、マスコミ、学校、福祉施設などのインターンシップ先では、ひとりひとりがそれぞれの職場で一生懸命がんばる姿が見られました。日本語が堪能な学生、そうでない学生、性格もさまざまな彼らでしたが、各配属先でのあたたかな指導を受け、あきらかに日本語も社会生活も向上し、短い期間に驚くほどに成長しています。



行け！ふくかねっと号！

インターンシップ事業の趣旨にご賛同をいただき、学生の送迎等に利用してほしいと、ネットヨタノヴェルふくしま株式会社様より、レジャスを贈呈していただきました。納車のその日からバリバリ大活躍のふくかねっと号です！

交流のオウチ

この夏行われたさまざまな交流に参加した会員のみさんから、報告と感想が寄せられました。

カラオケで打ち解けた！ 学生クラス 五十嵐有加子

突然たくさんのインターンシップの学生さんとお会いして、最初は少し緊張もしましたが、楽しい交流をさせていただきました。カラオケも大変盛り上がり最後にはすっかり打ち解けることができました。また早くみなさんに会いたいです。



安城市女子高校生のホームステイを終えて 木曜初級クラス 小峰 恭子

我が家には3人の女の子が来ました。食事はえびの天ぷらがお気に入りでした。とろけるプリンやマヨネーズみたいであまりおいしくないと言っていました。つたない私の韓国語を一生懸命聞いて理解してくれました。日本語を独学で勉強して少し話せる子もいたので助かりました。主人は片言の英語と簡単な日本語で楽しそうに話していました。2年前初めてホームステイを受け入れた時、正直他人が、それも外国人が何日も家に一緒にいることに抵抗がありましたが、いざ受け入れてみると本当にいい子ばかりでした。今回の高校生は三者三様で、とっても明るくて家の中でも「楽しいー！」と言ってスキップする子、大人で日本語は話せなくてもこちらの言いたい事をいち早く察する聡明な子、おとなしくて繊細だけれど一番日本の事を知りたくて沢山質問する子。みんなすていてなくて素朴で礼儀正しくていい子達でした。たった4日間だけのホームステイでしたが見送りの時抱き合って泣いてしまいました。「ウルルン滞在記」の様でした。



勉強家だけれど芸能人にも興味津々の高校生 土曜初級クラス 門馬 まゆみ

高校1、2、3年の女の子計3人をホームステイで受け入れました。ひとつふたつの年齢差なのに、寝る場所やお風呂に入る順番が先輩優先なのが印象的でした。将来の夢を聞くと、「物理学者」や「外交官」という答えが返ってきました。普段もかなり勉強しているようで、立ち居振る舞いにも頭の良さを感じられました。わが娘は「韓国に生まれなくてよかった」と言っていました。一方で、日本の同世代の高校生と同じく、タレントや占いにも興味津々で、日本の雑誌に載っているKAT-TUNや星占いの記事で夜は盛り上がっていました。



韓国のともだちとのうれしい再会 土曜入門クラス 奥野 広美

昨年の冬、娘が韓国へホームステイした先の子供達との「再会」となり、とっても喜んで、今回もすぐに打ち解けていきました。日本と韓国は、親の子へ対する面倒見の良さという点でとても似ています。だから、相互にホームステイしても親も子も違和感なく自然に接することができました。韓国の子供達は、使った布団を畳んだりとてもお行儀が良く、自分を表現することも上手で、娘も良い影響を受けたようです。



ハングルがまったくわからなくても。子どもクラス 八木沼 恵子

わが家は6才の息子がハングルを習っているだけで、韓国語はまったくわからない一家でしたが、13才、10才、9才と3人の男の子がホームステイにやって来て、お互いの国のガイドブックをみながらコミュニケーションしました。時間が限られていたので、もっと触れ合いたかったなというのが実感ですが、近所を散歩したり、買い物したり、バレーボールやバーベキューをしたりと濃密な時間が過ごせました。



Internship Album



インターンシップ生達のひとコマ

ふくかねつとのインターンシップ生を紹介します

コメント内容 ①名前 ②年齢 ③インターンシップ先 ④メッセージ

インターンシップで福島に来ていた19名の学生を代表して6名に、福島やこれまでで印象に残っている出来事などをインタビューしました。

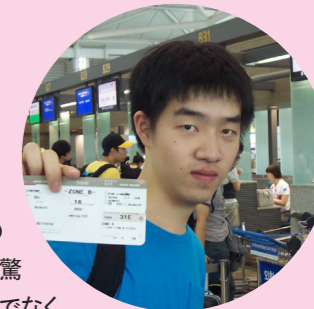
①ユ・ヒヨンス

- ② 25才
- ③ ふくかねつと
- ④ 福島に来て桃を食べてビックリ！くだものがこんなにおいしいものだとは思っていませんでした。また、韓国語講座で日本人に韓国語を教えるという機会を与えてもらえて本当に嬉しかったです。



①キム・ジンホ

- ② 21才
- ③ 福島民友新聞社、ホテル辰巳屋、JA
- ④ 日本に来てとてもたくさんの人と会うことができました。驚いたのは、電車のドアが自動でなくボタンで開けること。交通費が高いこと。100円ショップ自動販売機がどこにでもあることです。



①イ・ヨンウ

- ② 24才
- ③ 梨の里、福島民友新聞社、ホテル辰巳屋
- ④ 福島は素晴らしい自然環境が多いです。飯坂けんか祭りでは、「ワッショイワッショイ」と大声で掛け声をかけながら、おみこしをかつぎ、みんなと温泉にも入りました。



①キム・ミヨン

- ② 25才
- ③ FTV学苑、渋谷レックス、福島県盲学校
- ④ お祭りの体験がいちばん印象的でした！浴衣を着ているようなお祭りに参加して、今まで本で学んだ文化を理解できるようになりました。お祭りを通しみんなが1つになれたのが良かったです。



①ソン・ヒョンヒ

- ② 21才
- ③ NPOネットワークセンター、ふくかねつと
- ④ 土湯温泉でみんなと足湯をしながら景色を見たこと、飯坂けんか祭りで外国人として参加できたことが良かったです。わらじ祭りもとても印象に残っています。親切な人とたくさん出会えました。



①アン・ミンニョン

- ② 20才
- ③ 渋谷レックス、NPOネットワークセンター、ホテル辰巳屋
- ④ いつも毎日がびっくりの連続でした。職場では、日本人は自分の仕事に責任感が強いと感じました。講座でハングルを教えたこと、交流会で日本人とお酒を飲んだことが良かったです。



おかげさまで法人化から1年が経ちました

2007年6月9日伊達市ふるさと会館MDDホールにおいて第2回通常総会を行いました。また記念行事として、座談会「つきあいきれない人々～おもしろおかしい日韓交流～」を同時開催しました。

【第1部】ふくかねつと2007年第2回通常総会

【第2部】座談会「つきあいきれない人々～おもしろおかしい日韓交流～」

座談会では、パネリストに、韓国外国語大学日本語科副教授・韓日社会文化フォーラム代表 チョ・ギョチュル氏、福島大学産業システム工学教授 星野珉二氏、国際交流基金 一寸木英多良氏、あおりコリアネットワーク代表 滝田志津江氏を迎え、ちょん・ひょんしる理事長をコーディネーターに、各々が体験した日韓交流の体験を語り合いました。会場には、会員をはじめ来賓、一般の方々を含め約100人が集まり、熱心に耳を傾けていました。

